

一般土木・施工管理や住宅メンテナンス、運送まで 個人・法人の依頼に幅広く応えていく



株式会社 松田管理

鳥取県米子市二本木 1124-1
URL : <https://www.matsudakanri.com>
TEL : 0859-57-5904
MAIL : tsuneshimatsuda@sea.chukai.ne.jp

代表取締役社長

松田 常志



俳優 佐藤 蛾次郎

2010年の創業以来、舗装・解体・造成工事や施工管理などを手掛け、実績を築いてきた『松田管理』。また運送業も手掛けており、ドローンを利用した外構工事や住宅のメンテナンスなど個人のお客様に向けた事業でも頭角を現しつつある、地域で高い信頼を得る会社だ。本日は俳優の佐藤蛾次郎氏が同社を訪問し、松田社長にインタビューを行った。

——まずは松田社長の歩みから伺います。

高校時代にトラック野郎の映画を観てドライバーに憧れ、卒業後は食品の卸問屋に就職しました。最初の1年間は下働きをしながら商品のことを覚え、念願のドライバーとして市場への配送をさせてもらえるようになったんです。そちらでは3年ほど勤務して21歳で大型免許を取得。そこから地元に戻ってダンプの会社に入社し、10年間勤めました。そうして長くドライバーを続けていたのですが、ある時から知り合いの社長さんに依頼され、別の業種にチャレンジするようになったんですよ。

——と言いますと、どんな仕事を手付けられたのでしょうか。

最初は掘削機械などの機械に乗る仕事を依頼されました。そして半年ほど仕事をしていると、今度は「建設工事の施工管理、現場監督をしてほしい」と。その方は人を乗せるのがとても上手で、ついつい私もその度引き受けてしまったんです(笑)。

——(笑)。でも未経験の仕事で苦労もあつたのでは。

いえいえ。ダンプに乗っている時から現場仕事を見る機会がありましたし、何より建設機械での作業や施工管理といった仕事

がとても楽しかったんです。元々新しいことにチャレンジするのが好きだったので、性に合っていたのでしょうね。それが、私がかも手掛ける建設業に入ったきっかけ。その社長さんは残念ながら若くして逝去し、その時に会社もなくなってしまったのですが、大きな出会いを下さったと本当に感謝しています。

——良いご縁に恵まれましたね。その後、独立された経緯と言いますと？

その後、2級土木施工管理技士、1級土木施工管理技士と施工管理に関わる資格を取り、別の会社に入社して10年間、建設業の修業をしました。そして技術や経験を蓄積するうち、周りから「松田さん、そろそろ自分で事業をされてもいいんじゃない」と言っていただけのようになり、2010年に個人で事業をスタートしたんです。業界全体が厳しい時期だったこともあり、立ち上げから5〜6年は苦労しましたが、「これも自分で決めた道。何が何でもやり通す」という思いで頑張るうち、ある会社が救いの手を差し伸べてくれたのです。

——ほう。詳しくお聞かせ下さい。

ある時、「仕事をしなければご飯も食べられない」と施工管理の派遣スタッフとして、大手ゼネコンさんのお仕事を始めたんですね。その際に先のことを考えた仕事を尽くしたり、打ち合わせで工程や安全について「こうしてはどうか」という意見を述べたりしていると、「この人なら任せても大丈夫だ。現場をお願いします」と評価していただけまして。以来、一法人として正式に仕事をいただけるようになり、人も増やして今日に至ります。

——社長の仕事ぶりがいかに卓越したもので

after the interview

だったかが窺えますね！ そうですね！ 順調に事業を成長させ、今後はどのような展望を描いておられますか。

これまで手掛けてきた一般土木や施工管理の仕事や運送業に加え、地元会社の「中央建設（ニコニコ住宅）」のアフターメンテナンスをはじめとした仕事に携わり、地元企業さんや地域の方々の力になりたいと思っています。たとえばドローンを利用して屋根の点検や玄関手すりの工事、門扉や表札の工事、照明の工事、住宅内のメンテナンスなどで、家に関わる様々なお困りごとを解決したい。そうして個人・法人双方のお客様と良い関係を作り、地域に貢献し続けていきたいですね。



「従業員さんに松田社長の人となりや行動力がある方」とのお答えをいただきました。一度決めたらその道をやり抜こうとする強い意志はインタビューでも感心したところ。今後もそのバイタリティーで事業をさらに成長させていきたいですね！」

佐藤 蛾次郎・談